

伊集院保健所感染症情報

2024年第23週（令和6年6月3日～令和6年6月9日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症 管内警報発令：手足口病

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第20週	第21週	第22週	第23週	先週からの増減	第22週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	0.20	0.20	0.00	0.40	↗	0.36	↘
COVID-19	-	-	-	2.40	4.00	5.60	8.80	↗	7.11	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	2.00	1.67	0.67	2.67	↗	1.63	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	7.00	3.33	6.00	7.00	↗	4.29	↘
感染性胃腸炎	20	12	-	1.00	4.00	2.00	2.00	→	5.18	↘
水痘	2	1	1	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
手足口病	5	2	-	5.33	5.33	5.00	7.00	↗	8.04	↗
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.67	0.00	0.00	→	0.51	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.33	0.67	0.33	0.67	↗	0.55	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
RSウイルス感染症	-	-	-	0.67	0.33	1.67	2.00	↗	1.63	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

※基幹定点からの届出状況，インフルエンザ入院サーベイランス，COVID-19入院サーベイランス，全数報告（カッコ内は本年の累積数）については，報告があった時に記載します。

● TOPIC A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）が増加しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）は管内で2週続けて多くなっていますが，全国でも定点当たり5.03（第21週）と3週連続で増加し，過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多くなっています。

溶連菌感染症は，乳幼児では咽頭炎，年長児や成人では扁桃炎が現れ，発しんを伴うこともあり，発赤毒素に免疫のない人では，猩紅熱といわれる全身症状を起こすことがあります。

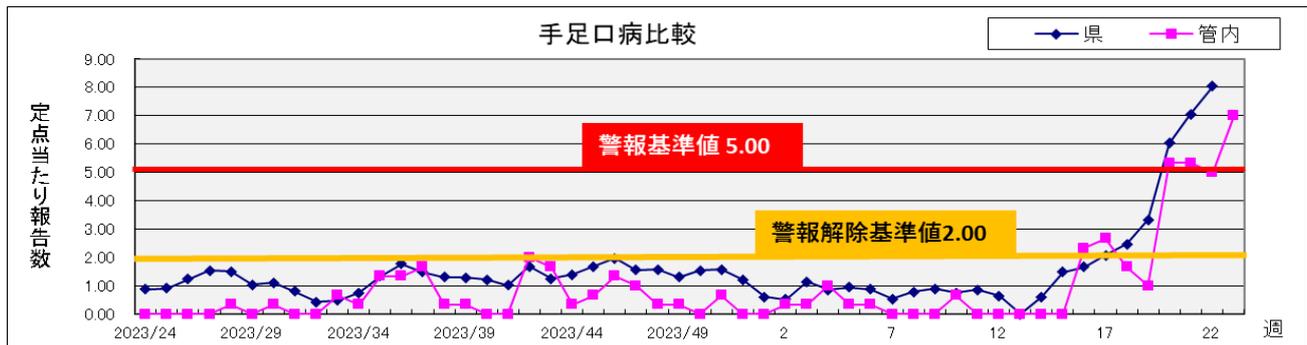
また，リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの二次疾患を起こすことにも注意が必要です。

溶連菌に感染した患者で，稀に引き起こされる劇症型溶血性レンサ球菌感染症（STSS）の今年の報告数は，第21週まで全国で935人報告されており，増加傾向にあります。

引き続き感染拡大防止のため，手指衛生や咳エチケット，傷口の清潔な処置などの感染対策の実施や周知の徹底を今一度お願いします。

● 注意すべき感染症

● 手足口病（管内警報発令中！）



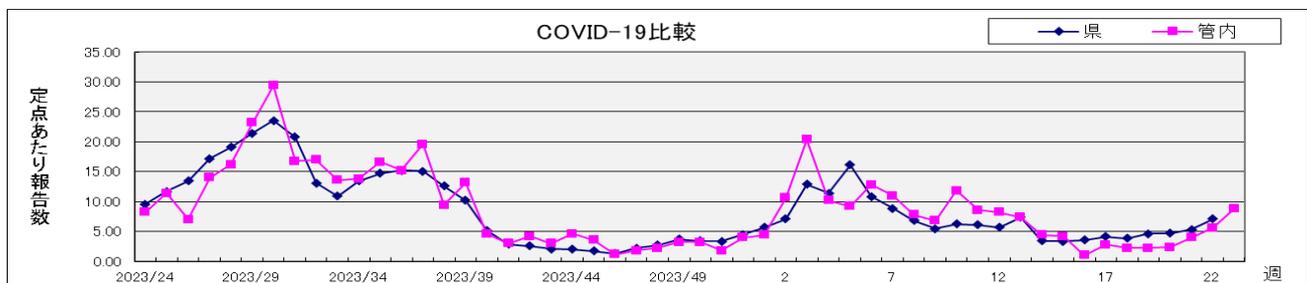
今週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、前週の15人（定点当たり5.00）から6人多い21人（7.00）でした。年齢別では、2歳（10人）、1歳（5人）、6ヶ月～11ヶ月（3人）、3歳・4歳、8歳（各1人）の順に多い報告でした。

感染すると、3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。特に、乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは集団感染が起こりやすいため、注意しましょう。

一般的な感染対策として、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。

● COVID-19（新型コロナウイルス感染症）



今週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、前週の28人（定点当たり5.60）から16人多い44人（8.80）でした。年齢別では60～69歳・80歳～（各9人）、10～14歳（6人）・15～19歳・40～49歳（各5人）、30～39歳（4人）、9歳・70～79歳（各2人）、1歳・2歳（各1人）の順に多い報告でした。

★**新型コロナ療養の目安**：発症日（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日）から5日を経過し、かつ症状が軽快して24時間経過するまで（学校保健安全法も同様）。また、発症日から10日間はマスクを着用し、周りに感染させないようにしましょう。

感染予防対策は、咳エチケット、手洗い、室内の喚起をする、集団生活の施設では、共用部分の消毒を徹底することです。

○学校における感染症による出席停止の状況6/3～6/9（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、水痘1人、咽頭結膜熱1人、溶連菌感染症3人、手足口病1人、COVID-19が21人報告されています。

自治体名	疾患名	水痘（みずぼうそう）	咽頭結膜熱	溶連菌感染症	手足口病	新型コロナ感染症
日置市		1	0	2	0	13
いちき串木野市		0	1	1	1	4
三島村		0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	4
計		1	1	3	1	21